Ｈ３０塩川小学校　校長室だより　30年5月30日(水)№2

さわやか

塩川小学校の教師像～教師の情熱・専門性・人間性から

〇きびしく、やさしい教師（情熱）
〇自己目標を持ち、常に研修に励む教師（専門性）
〇児童・保護者・教師から信頼される教師（豊かな人間性）

人事評価の期首面談では、先生方の目標や手立てについて詳しくお話しできてとても有意義な時間になっています。
話し合いの中で、「教師が率先垂範する」や「保護者との信頼関係をつくって連携する」等の言葉がよく聞かれます。そこで、本校の教師像について、改めて考えてみました。

子どもの目線におりて、相談しやすい雰囲気をつくる戸田先生。

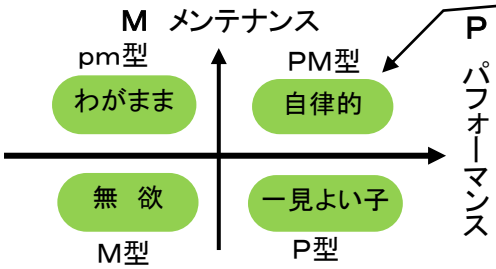
学級担任のリーダーシップをどう発揮するか！？

リーダーシップの発揮に必要なコンピテンシーは何でしょうか？大きくまとめると、人格を磨くことでしょうか！。誠実さは、その一つかと思います。その他、適切な判断力、行動力等も必要でしょう。そして何より大切なのは、「信頼」ではないでしょうか？
保護者とはもちろん、子どもとの信頼関係は、意識しないとつくられません。先生だから信頼されている、というのは昔々の話です。

対象を限定し、変化させながら子どもの集中力を高める竹田先生。

教師のPM理論～「素敵」な子どもの要素、「自律心」を育む～

◇　ＰＭ理論（三隅二不二の提唱した経営学用語）
Ｐ…パフォーマンス機能＝目的達成のためにぐいぐいひっぱっていく
Ｍ…メンテナンス機能＝集団を維持するため、細やかな目配り・気配りをする
スモールｐとｍは、ラージＰとＭの逆と考えます。すると、PM 型リーダーシップにおいて生産性，モラールともに最高となることがわかりました。



ＰＭ…細やかな気遣いと強い指導力発揮すると、**「自律的な子ども」**が育つ
Ｐ……一貫して厳しく指導すると、「一見してよい子」が育つ。
Ｍ……温和で細やかな気遣いをすると、「わがままな子ども」が育つ
ｐｍ…厳しさがなく気遣いがない指導は、「無欲な子ども」が育つ。

ＰＭ型の指導をする教師は、まさに**「きびしく、やさしい教師」**そのものです。ＰとＭの機能を使い分けて、**自律的な子ども**を育てましょう。子どもに自律的な力を身に付けることができる教師は、おおきな「信頼」も得ることができます。信頼関係ができれば、教育効果がさらに高まっていきます。
さて、自分はどの型の指導をしているか振り返ってみましょう。

「名前を付けてあいさつ」を、率先垂範する

期首面談で、「名前を付けてあいさつ」を教師が率先垂範することで、あいさつする子を増やしたいとお話しした先生がいます。なるほど、我々が「名前を付けてあいさつ」を徹底すれば、それが身に付くこと間違いなしでしょう。
そして、両者によい関係ができ、その関係が「信頼」に高まること間違いなしでしょう。